

2016年10月4日

プリンスホテル

国内外観光・ビジネス需要の多様化に対応し、 「グランドプリンスホテル京都」「びわ湖大津プリンスホテル」を改装

株式会社プリンスホテル(本社:東京都豊島区東池袋3-1-5、代表取締役社長:赤坂 茂好)は、2018年3月までに、「グランドプリンスホテル京都」、「びわ湖大津プリンスホテル」の改装を実施いたします。

両ホテルは、世界的観光地である京都と、近年観光客が増加傾向にある大津に位置し、レストラン、宴会場などの施設も有することから、観光利用や国内外のMICEを核としたビジネスユースなど幅広い層にご利用いただいている施設です。

「グランドプリンスホテル京都」は、今後更なる観光需要の高まりが期待される“洛北”に位置するホテルとして、また、隣接する国立京都国際会館が2018年に増築されるなど、MICE需要の受皿としての役割を果たすべく、**ロビーと全客室(310室)、レストラン、カフェをリニューアル**いたします。また、ロイヤルフロア(8階)にご宿泊のお客さまおよびプリンスステータスサービス プラチナメンバー専用の**クラブラウンジを新設**いたします。

「びわ湖大津プリンスホテル」は、京都、大津および湖北・湖東エリア、近年人気が高まっている琵琶湖周遊型の観光拠点としての魅力向上を図るべく、**ロビーと全客室(528室)、レストランをリニューアル**いたします。

ホテルが位置する「京都」「大津」は、観光地やMICE拠点として注目を集めていることから、プリンスホテルは今後も各自治体や周辺企業との連携を一層強化し、観光都市としての発展の一端を担ってまいります。

ホテル	改装箇所	改装内容	工期(予定)	オープン(予定)
グランド プリンスホテル 京都	全客室	3タイプフロアカテゴリーに分けリニューアル	2017年1月～3月 7、8階 2017年5月～7月 2～4階 2018年1月～3月 5、6階	2017年3月 より順次
	レストラン	フランス料理レストランを改装	2017年5月～7月	2017年7月
	ロビー、 クラブラウンジ	ロビーはスムーズな導線確保とアライバル エクスペリエンスの向上を目的にリニューアル クラブラウンジを1階に新設	2017年5月～7月	
	中庭	洋風庭園から日本庭園をイメージした 「和の空間」に変更	2017年5月～2018年3月	2018年3月
びわ湖大津 プリンスホテル	全客室	3タイプフロアカテゴリーをより明確化し、 琵琶湖の眺望を活かした内装にリニューアル	2016年12月～2017年3月 5階～16階 2017年9月～2018年3月 17階～35階	2016年12月 より順次
	ロビー、 ラウンジ	フロント拡張による利便性の向上 ラウンジのリニューアル	2017年9月～11月	2017年11月
	レストラン	ブッフェレストランを改装	2017年1月～2月	2017年3月

◎本件に関する報道各位からのお問合せは
グランドプリンスホテル京都 事業戦略
TEL: 075-712-1150 FAX: 075-712-4848
びわ湖大津プリンスホテル 事業戦略
TEL: 077-521-2933 FAX: 077-521-1114

グランドプリンスホテル京都

世界有数の歴史観光都市―「京都」―

「グランドプリンスホテル京都」が立地する京都市は関西国際空港の増便なども背景に観光客数が、2013年 5,162万人、2014年 5,564万人、2015年 5,684万人と増加の一途をたどるなど(京都観光総合調査より)、世界的観光都市として年々成長しています。また、訪れるエリアも、祇園・東山周辺や嵯峨・嵐山周辺の定番観光地から、洛北エリアの上賀茂や貴船、大原などに徐々に拡大をしています。

ホテルに隣接する「国立京都国際会館」が2018年に多目的ホールを増築するなど、グローバル MICE 都市・京都としての強みを更に発揮できる環境が整い、今後国内外のMICE利用のお客さまの増加も見込まれます。

グランドプリンスホテル京都改装概要

今回の改装は「伝統と革新」をテーマに、今後も増加が見込まれる訪日外国人旅行者の更なる誘客や富裕層の取り込み強化のため、「ロイヤルフロア」、「エグゼクティブフロア」、「デラックスフロア」の3タイプのフロアカテゴリーに分け、全客室309室(改装後310室)をリニューアルいたします。ロビーフロアは、明るさを意識した空間から中庭の豊かな自然を際立たせる内装にリニューアルいたします。今回の改装により、日本を代表する歴史観光都市・京都に立地するホテルとして更にお客さまの満足度向上を図ります。

1.全客室(2～8階、310室)

村野藤吾設計の基本デザインを活かしながら、洛北の自然を感じていただけるように木やファブリックの素材感を活かした客室にいたします。

(1)ロイヤルフロア(8階・44室)

国内外の富裕層、企業エグゼクティブを想定客層とし、喧噪から隔離された空間を演出いたします。

(2)エグゼクティブフロア(7階・46室)

今回の改装で新設するフロアで、国内外の個人旅行者や、MICE利用者を想定した客室にいたします。

(3)デラックスフロア(2～6階・220室)

国内外の個人旅行者の洛北観光の拠点として、多様なニーズに対応する機能性の高い客室にリニューアルいたします。



ロイヤルフロア「ロイヤルスイートルーム」リビング (イメージ)



エグゼクティブフロア「ツインルーム」(イメージ)

2.レストラン(1階)

メインダイニングである「レストラン ボーセジュール」を贅沢なダイニングシーンを演出するレストランに改装いたします。地元の京野菜などを活かしたメニューや京都らしい朝食を提供するレストランに生まれ変わります。

3.ロビー、クラブラウンジ(1階)

(1)ロビー変更

「余白と陰影」をテーマに現在の明るさを意識した空間から、窓の外に広がる緑豊かな風景をより際立たせ、ロビーに居ながらにして洛北の四季を感じられる上質な空間に改装いたします。夜はライトアップした中庭と、室内の間接照明が情緒溢れる空間を演出いたします。

(2)クラブラウンジの新設

現在、「ポンドカフェ」として営業しているスペースに、ロイヤルフロア(8階)にご宿泊のお客さま、およびプリンスステータスサービス プラチナメンバー専用のクラブラウンジ(40席)を設けます。



ロビー (イメージ)



クラブラウンジ (イメージ)

4.中庭

より落ち着いた空間とするため、中庭のデザインを現状の洋風庭園から日本庭園をイメージした「和の空間」に変更し、国内外のお客さまに日本の伝統的な庭園美をお楽しみいただけます。

施設概要

【開業年月日】 1986年10月9日

【所在地】 〒606-8505 京都府京都市左京区宝ヶ池

【お問合せ】 TEL:075-712-1111

【客室】 客室 309室(改装後 310室)

【レストラン】 「レストラン ボーセジュール」(改装後名称未定)、
「中国料理 桃園」、「日本料理 宝ヶ池」、「茶寮」、
「バー アスコット」、「ポンドカフェ」(改装後クラブ
ラウンジ、ロビーラウンジへ変更)

【宴会場】 7室

※下線箇所は今回の改装施設。



グランドプリンスホテル京都 全景

びわ湖大津プリンスホテル

注目が高まる琵琶湖・大津

名所旧跡の多い湖北・湖東エリアへの観光需要の高まりが期待されるとともに、琵琶湖回遊型観光の注目が高まっております。琵琶湖の水と人々が織りなす文化「琵琶湖とその水辺景観一祈りと暮らしの水遺産」が、日本遺産として認定されたほか、大津市の天孫神社の例祭「大津祭りの曳山行事」が国の重要無形民族文化財に指定されたことなどから、国内外からの琵琶湖・大津への観光需要はますます高まることが見込まれます。訪日外国人旅行者はリピーターの増加と共に個人旅行へとシフトしており、そこでしかできない体験を求め地方へと足を延ばす傾向は強まっております。国内外の若い世代からも人気が高まる「かるた」の聖地である近江神宮や、琵琶湖を自転車で1周する「ピワイチ」のPR強化など滋賀県では観光振興、訪日外国人旅行者の拡大など若い世代を中心とした観光客誘致に官民一体となって取り組んでおります。

「びわ湖大津プリンスホテル」においては2016年4月「大津プリンスホテル」から「びわ湖大津プリンスホテル」へと名称を変更し、琵琶湖の豊富な観光資源をアピールしながら、更なる地域連携を図ることで誘客を強化してまいります。

びわ湖大津プリンスホテル改装概要

増加傾向にある訪日外国人旅行者においては「ミレニアル世代」を中心とした個人旅行者、国内においてはアクティブシニアを含む三世代ファミリー、リゾートMICEの取り込みを強化するためリニューアルいたします。

全室レイクビューの530室(改装後528室)の客室と国内最大級のコンベンションホール「淡海」などを備え、さまざまなお客さまを受け入れてまいりました。今回の改装によりお客さまの利便性の向上と、ロケーションを最大限に活かしたレイクサイドリゾートホテルとしての価値向上に努めてまいります。

1.全客室(528室)

「EIZANフロア」、「スカイフロア」、「レイクフロア」と3タイプのフロアカテゴリーのコンセプトをより明確にすることで、多様化するお客さまのニーズへの対応力を強化し、さまざまなお客さまがより快適に過ごすことのできる空間を提供してまいります。上層階の「EIZANフロア」は現在の2フロアから3フロアへと拡大いたします。最上階にはスイートルーム2室を新設いたします。

(1)EIZANフロア(33～35階・52室)

長期滞在をゆっくりとお過ごしいただけるハイグレードタイプの客室にいたします。琵琶湖の眺望をお楽しみいただけるよう窓際にデイベッドを設置し、観光情報を提供するタブレットも導入いたします。

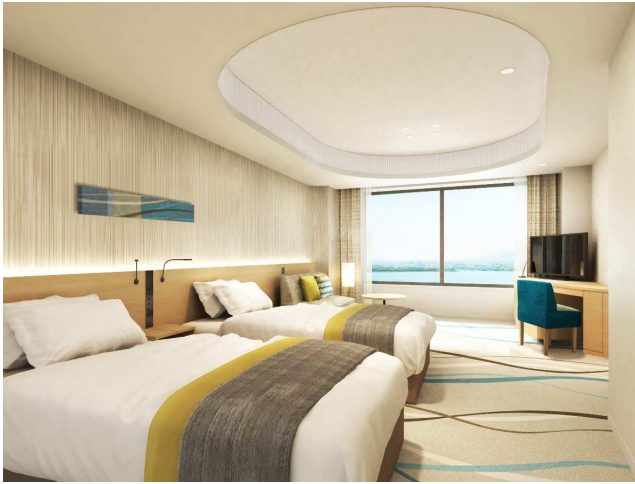
(2)スカイフロア(21～32階・216室)

琵琶湖の空をイメージし、リゾート感あふれる中でも女性層や海外のミレニアル世代に共感していただけるデザイン性にあふれる客室にいたします。デジタルネイティブ世代を意識し、お手持ちのスマートフォンの写真や音楽をお楽しみいただける機器もご用意いたします。

(3)レイクフロア(5～20階・260室)

デザインコンセプトを「Lake Bright」とし、琵琶湖の「水」をイメージした明るく爽やかな空間にいたします。

レイクフロアのツインルームは、ファミリーやグループなど4名でのご利用にも対応いたします。和室の寝具は布団からベッドへと変更し、シニアや訪日外国人客の利用を意識した和洋室タイプといたします。



レイクフロア「ツインルーム」(イメージ)



レイクフロア 和洋室 (イメージ)※客室名称変更予定

2.ロビー、ラウンジ(1階)

(1)ロビー

ロビーフロア全体の内装を一新し、アライバルエクスペリエンスの向上を図ります。ロビー中央には「水」と「光」の演出を行い、ホテルのシンボルとなるエリアを創出いたします。また、フロントカウンターを拡張します。

(2)ロビーラウンジ

テイクアウトコーナーの移動・拡充、コミュニティエリアとして大型テーブルの設置や電源の増設、スロープの新設によるバリアフリー化などを実施し、さまざまな人々の集いの場としての役割を担います。

3.レストラン(37階)

「ステーキ&シーフード ニューヨーク」がブッフェレストラン「Lake View Dining BIONA」として生まれ変わります。店内は琵琶湖の特徴である豊かな「自然」をテーマとした3つのエリアで構成いたします。地元食材や有機野菜を取り入れた和洋中のブッフェ料理を提供、料理ボードには鉄板を新設し、メニュー内容の更なる充実とともにパフォーマンスも行います。

【名称】Lake View Dining BIONA

※「Biwako-Otsu-Nature」の頭文字をとり、琵琶湖の自然を表現した造語。



Lake View Dining BIONA
【Garden Terrace】(イメージ)



Lake View Dining BIONA
【Forest Terrace】(イメージ)



Lake View Dining BIONA
【Lakeside Living & Terrace】(イメージ)

施設概要

【開業年月日】 1989年4月22日

【所在地】 〒520-8520 滋賀県大津市におの浜 4-7-7

【お問合せ】 TEL : 077-521-1111

【客 室】 客室 530室(改装後 528室)

【レストラン】 「ロビーラウンジ シャトレヌ」「フランス料理 ポーセジュール」「ステーキ&シーフード ニューヨーク」(改装後「Lake View Dining BIONA」へ変更)、「和食 清水」「中国料理 李芳」「スカイラウンジ トップオブオオツ」「バーベキューレストラン レイクサイドガーデン」(夏期のみ営業)

【宴会場】 コンベンションホール淡海、宴会場 8室



びわ湖大津プリンスホテル 全景

※リリースに掲載の内容は2016年10月4日現在のものであり、変更となる場合がございます。